



新たな年が始まり早 1 か月が過ぎようとしています。遅ればせながら、皆様にご健勝にお過ごしになられますよう白馬よりお祈り申し上げます。*****2018 年が平穩にすぎゆきますように*****
大寒の今、全国的に厳しい寒さのなかにあります。首都圏の雪のニュースに目を凝らしているのも束の間、雪国は雪国らしい降雪の日々となっています。この原稿を、静かにそして濃密に降り続く雪を感じながら、明日朝の雪掻きを案じながら書くことになりそうです。

では、各種 ****** お 知 ら せ & お 願 い ******

冬期営業・・・3月31日までは休まず営業。(AM8:30~PM5:00)

冬期体制・・・通常の従業員に加え、冬期スタッフ2名、サポート1名

全員が順に休みを取っていますので、事務所も一人での対応という場合が多々あります。2本目の電話が鳴っていても出られない、来客対応で電話そのものに出られない、「なぜ電話に出ないのか!」とのご不便や懐疑の原因はこれです。ご容赦ください。
そんな時、緊急でない場合は、少し時間をおいてかけなおす、余裕のある場合は、FAX や mail に切り替えてみる、そして文面の最後に「見たら返信せよ!」とでっかく記入してみる。これでいかがでしょうか? (#^_^#)

除雪・・・当社では、大型の除雪車(タイヤドーザー)2台、小型の除雪車1台、ロータリー除雪車1台を所有し、未明より道路確保に努めています。また、手動の除雪機2台と人力によって、別荘の駐車場確保や除雪車の入れない箇所等の除雪を行っています。冬期用の人員体制を敷いていますが、除雪を行っている時間帯は、急なお呼び出し(SOS)への対応にもお時間をいただくことがあります。❄️路上駐車や道路にはみ出での駐車は、道路除雪妨害となるため厳禁。お早目に駐車場除雪のご依頼をお願いします。また、車の出入りの際に繰り返し積もった雪を踏みつけますと、硬いバーンができてしまい後日除雪機の刃が立たなくなる、気温が上がってくると融けた雪で車がスタックしてしまう、こんなこととなります。話はそれますが、信州ことばに「ずく(を)出せ!」というものがあります。「ずく」とは、根気、根性、頑張り・・・標準語にしようとしてもなかなかピタッとこないのですが、私は「ずく出せ」という言葉の持つ響きと伝えたい意味がとても素晴らしいと予てより感心しています。そこで皆さまへ。「雪国では雪を相手にずくだしましょ!!」

ゴミの出し方・・・昨年からのゴミの分別方法が変わりました。ゴミステーションも増築し、それぞれの置場が変わっています。分別へのご協力をお願いします。詳しい分別方法は、HP・印刷チラシをご覧ください。ご不明の際は、管理事務所にお尋ねください。

必ず、白馬村指定のゴミ袋前面にマジックで『みそら野 (お名前または別荘名)〇〇〇〇』とご記入ください。ゴミステーション⇒事務所営業時間外は施錠しています

ホームページ&facebook について

URL: <http://www.hakuba-misorano.jp> ー昨年みそら野管理事務所ホームページをリニューアル。ホームページ中の facebook を随時更新し、白馬・みそら野・管理事務所のレアな情報をお届けしています。facebook において、みそら野別荘地に関するお知らせも掲載していますので、インターネットをご覧になれる方は、ぜひ「みそら野管理事務所 HP」をお気に入りにして時々facebook を覗いてみてください。「フェイスブックやってないから見られないなあ・・・」とおっしゃる方がいますが、企業用 facebook ですので、facebook の個人アカウントを持っていない方(やっていない方)でもご覧いただけます。OK(*^_^*)

管理費の金融機関引き落としをお勧めしています 郵貯銀行をはじめ全国の金融機関対応です。管理費を口座引き落としにされた場合、振込手数料のご負担はありません。平成 30 年度管理費お支払いに間に合わせるには、2/15 までに手続き完了が必要です。ご連絡下さればすぐに口座振替依頼書をお手元に郵送いたします。必要事項記載と銀行印押印の後ご返送くださればお客様の手続きは完了です。今回は期日が迫っていますので、〇〇元年度からのご利用でも構いません。徐々に銀行口座引き落としへの移行を考えています。話は反れますが、次の元号は何になるのでしょうか？昭和生まれの私は・・・かつて明治生まれの方を昔の人(歴史の中の人)と思ったように、今度はわが存在が歴史の中へ歩いていくことを思うに至るのです。

地域情報誌『ら・プラス』休刊から再刊へのお知らせ

長年皆様へお届けしてきた『ら・プラス特別号』。これは、冬と夏の季刊でイベント情報も詳しく載っており、白馬へ来る方には便利な情報源として、白馬へ来ることのない方には遠くにある縁の地に想いを馳せるツールとして、大切な役割を果たしてきました。弊社広告も毎回掲載するように心がけてきました。そのら・プラス全ての休刊を知った時は、正直なところ、残念と言うより参ったなあ!! 困ったなあ!! この度、前月刊の体裁として年 4 回の再刊となりました。その発行を待っての『みそら野だより』送付となります。& 八方尾根開発は、年々興味深いイベントや新たな取組みを進めています。ここに 2 枚のイベントチラシを同封しますので、ご都合・日程の合う方は、ぜひお出かけになってみてください!!

みそら野管理事務所 昨年～取り組み

イベント開催

①春・夏・秋の3回に亘ってガーデニング講習会を太田造園社長夫妻を講師に迎えて開催。

みそら野別荘地に合う植栽、日常的に手入れできない別荘の方へのお勧め植物、白馬村内のオープンガーデン見学、冬に向けた雪囲い等・・・

引き続きの開催ご希望をいただいています。

②平川観察会 砂防の見地から役場建設課を講師に迎え、上流からみそら野別荘地俯瞰、砂防の歴史、源太郎頭首工、小水力発電所等の施設見学。平川の砂防事業あつてのみそら野別荘地であることを学ぶことができました。

青色パトロール

昨年、長野県の民間としては2台目の青色パトロールの認定を取りました。毎朝管理事務所のパジェロの頭に青色の回転灯を点けてパトロールしています。夜も入込の多い時等パトロールしています。防犯の一助となることを目指しています。青色ピカピカ君を宜しく(^_^)

看板設置

国道からの入り口(管理事務所前)とエコーランドから3次分譲地に入るロータリーに「みそら野別荘地」の看板を立てました。白地に茶色!! 控え目ながら。。統一。街燈増設・・・昨年末 10 か所増やしました。下(国道寄り)から順次進めていく予定です。

2017(平成29年)、白馬全体として、ますます海外からの資本によるビジネスが盛んになっています。高額なコンドミニアム、ホテル買収～改修、高級レストラン・・・それとともに東京資本による各種計画。みそら野とその界隈に絞り込んでみると、レストラン、カフェ、貸別荘等、投資額に差はあれど同じ流れの中にあります。ここからはみそら野別荘地の不動産状況に限定して説明します。みそら野別荘地の不動産は、外国人向けの貸別荘、従来の日本人別荘や住宅建設、隣地購入が、バランスよく動きました。この傾向は歓迎できる動きです。その中でも顕著な特徴として、中古建物の売り物件が減少してきたため、エコーランドに近くシャトルバス停にも近い土地が貸別荘建築を視野に勢いをもって動きました。上記条件地から離れた土地に関しては、別荘地としての環境に優れていると自信を持っている土地でも、動きはゆっくりと吟味の末となり、大きな流れに乗せることができいていません。価格については、大幅な値引きから小幅な値引きへシフトでき、下げ止まりを確信できる地域と相変わらず価格勝負になってしまう地域の混在です。グリーンシーズンが素晴らしい山より(5丁目)地域を管理の行き届いた安心の別荘地として多くの方に興味をもっていただくことを目指しています。

★新しいお店紹介★

【SLY Café スライカフェ】



細野筋の元別荘が新しくカフェに生まれ変わりました！赤い屋根とステンドグラスが素敵な赤い扉が目印です。エスプレッソマシーン界のフェラーリ、ラ・マルゾッコで入れるこだわりのコーヒー。メニューにあるロングブラック=いわゆるブラックコーヒー、フラットホワイト=カフェラテと呼び方が外国人、特にオーストラリア人の多い白馬らしい。豆はお客様の反応を見ながら入れ替えていくとの事で、毎回行くのが楽しみになりそうです。朝からホットサンドやテイクアウトできる温かいスープ、ランチのおすすめはチキンパーミー(チキンサンド)！柔らかい胸肉のサンドはヘルシー、なのにお腹一杯。別荘をリノベーションした店内は、前の別荘オーナーが残した家具や外柱を上手に利用し、小さいながらも落ち着いた雰囲気をついつい長居・・・。駐車場も広いので車で行ってもストレスなし！でも、せっかくなのでみそら野散歩ついでにフラッと立ち寄るのがおすすめです。



今後のみそら野予報

★育ちすぎたアカマツ等の樹木伐採について各方面にアンテナを向け～模索中。解決へのご提案やご協力依頼ができるよう進みます。倒木被害が起きた&起きる寸前のケースでは緊急伐採となります。(費用発生ご負担請う)
★イベント・・・役に立つこと、楽しめること、みそら野独自のこと・・・知恵を絞ります。ご提案、ご協力、ご参加の程、宜しく申し上げます。秘めた案あり♡楽しめるかな?実現できるかな?
★引き続き街灯の少ない箇所に街灯増設予定。星空が見にくくなる・・・というご意見もチラリと耳にしますが、防犯や危険回避を優先します。
★エコーランドからの入り口のロータリーに看板を設置しましたが、今春からロータリーに植栽🌸🌸🌸🌸🌸を行います。みそら野別荘地の周知・イメージアップ・そして記念写真撮りたくなるようなスポットになれば幸いです。

★前回の 2017 夏号で『武藤衛さんのみそら野ヒストリー』の連載予告しましたが、都合により次回の夏号掲載までお待ちください。

それに代わりまして・・・ぜひお伝えしたいニュース。

「氷河がこんな近くに !00 」

鹿島槍ヶ岳カクネ里雪渓の氷体(氷の塊)が氷河の可能性との論文が、複数の研究者による審査を経た結果、氷河であると学術的に確認されました。全国ニュースでご覧になった方も多いのではないのでしょうか？国内の氷河は富山県立山地域の3か所に続き4か所目、そして長野県では初となります。

たまたま一昨年11月初頭、友人の誘いを受け晩秋の快晴のなか雪を踏みしめ、日本山岳会主催、立山カルデラ砂防博物館飯田学芸員の説明を受けながらのカクネ里雪渓探訪に参加しました。雪を踏みしめ・・・と言っても、五竜のゴンドラを利用して遠見尾根の途中までの道のりです。小一時間をかけて小遠見まで登ると鹿島槍ヶ岳のカクネ里といわれる雪渓が指呼の間に見えるようになります。かつて人類学者で探検家の今西錦二がカクネ里は氷河ではないかと予想したことに始まり、前人未到の地ゆえ調査も途絶え数十年、再び始まった現地調査は困難を極めたそうです。大町市側からは寄り付けず白馬村から五竜岳を目指し、五竜岳直下から急斜面を降りて辿り着けるカクネ里。長さ700mを超える氷体確認後、次の段階としてGPSを取り付けたポールを氷体に突き刺しての調査を経て、斜面に添って動いていることが確認できた説明等は、一般人として純粋に感動。一昨年はこれらの調査の末に導き出された学術論文提出段階とのことでしたが、その時すでに確信の結論と感じました。今後長期的な観測が行われるようです。過去を紐解き未来へ向けて・・・地球温暖化の傾向などが解明されるかもしれません。鹿島槍ヶ岳は大町市から登る山ですが、今後も氷河としての見学は遠見尾根からだけとなるそうです。ゆっくり登れば多くの方が見学できる場所です。「氷河がこんな近くに !00 」ぜひ・・・👉👉👉👉👉

★★★小遠見からカクネ里の雪渓を見学した際の写真を探してFacebookにアップしてみます・・・

★★★ところで、カクネ里の語源は平家の落人のかくれ里なのかもしれない・・・個人的想像・・・

「宮本輝の特別展 ～高志の国文学館」

12月初め。衝動的ともいえる勢いで富山へ車を走らせました。中学の担任の先生が現在は富山にお住まいで、その先生がFacebookに特別展の記事をアップされ、それに「いいね!」をしたことに発し、夜中にSMSで会話。そしてお誘いを受け、翌朝富山へ向かったのです。宮本輝は読み耽った作家のひとりです。泥の河ほか川三部作に始まり～繊細すぎるほどの感性がその筆致を通して直接体の奥底へ届くようで・・・担任の先生とも25年ぶりの再会、宮本輝の神髄に触れるような展示、尽きぬ話、富山市内から見る剣岳の迫力、川三部作のひとつ「螢川」のモデル「いたち川」散策へも連れて行っていただき至福の時を得ました。高志の国文学館の佇まいも上質でした。高志(こし)の国とは「越の国」越前から越後の古の呼称。

お願いごと & ご連絡

平成30年度の管理費ご請求書を3月1日付けで皆様のお手元へ郵送いたします。お振込の程、何卒宜しく願い申し上げます。尚、口座引き落としの方は、3/27がお引き落とし日となります。

お気軽に管理事務所へお立ち寄りください。そして、思いや気づきをぜひお聞かせください。皆様とのささやかな雑談、アドバイス、それらがとても貴重であることを痛感しています。管理の仕事やイベント、新たな取り組みへの糧になっています。勿論mailでもOK